

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (著書) 医療情報第 5 版—情報処理 技術編—	共著	平成 28 年 7 月	篠原出版新社	医療情報技師の公式教科書として医療情報技師に求められる情報処理技術について解説したもので、特に情報処理技術の基礎となる情報の概念、コンピュータのハードウェアとソフトウェアについて、基本的な概念から現在使われている様々な技術について詳細に解説した教科書。 (395 頁) (平松治彦、笹川紀夫、上杉正人他) (担当部分:第 2 章ハードウェア(pp20~48))
2 (著書) 第 2 版 医療情報 サブノート	共著	平成 23 年 5 月	篠原出版新社	医療情報学について初学者向けに基礎的知識修得を目的とし、講習会で使用したスライドを基に解説を加え、医療情報技師の育成のみならず医師や看護師等の医療従事者にも必要な医療情報の知識についてわかりやすく解説した教科書の改訂版。(380 頁) (松村泰志、石川澄、小笠原克彦、笹川紀夫他) 担当部分:第4章情報セキュリティ(pp61~76)
3. (学術論文) 電子カルテシステムの時間情報を用いた業務改善の評価手法		平成 28 年 3 月	広島国際大学医療経営学論叢, 第 9 号	電子カルテシステム導入の急性期病院において導入後の業務改善効果を測定する手法について考察したもので、UML のアクティビティ図を基に時間軸を加えたものを用いて調査を実施し、業務改善効果の測定手法として有用であることが示された。今後この手法を利用することで病院経営全般の改善効果に有用であることが示唆された。(当該論文のページ数: 17 頁)(当該論文の著者名:梶山直裕、服部建大、笹川紀夫、宇田淳)
4 (学術論文) 財務諸表を活用した病院経営指標の試案—医療機関の財務諸表に対する因子分析と相関分析の活用—	共	平成 27 年 3 月	広島国際大学医療経営学論叢, 第 8 号	毎月定期的に作成している財務諸表に着目し、財務諸表に対して安価な統計解析ソフトを用いた多変量解析から管理会計的な病院経営指標を導き、経営の継続・充実に繋げることを目的とし循環器疾患専門の急性期機能を対象として因子分析および相関分析を行った。その結果統計解析ソフトと定期作成している財務諸表より、病床機能が異なる病院であっても、病院経営管理指標の導出に取り組むことにより、当該病院の経営状況や構造にあった病院経営指標を導き出すことが重要であると考察された。 (当該論文のページ数:11 頁)(当該論文の著者名:佐藤謙、木村憲洋、渡邊一平、笹川紀夫)
5. (学術論文) 中小規模病院における電子カルテシステム導入に係る業務改善の効果—レセプト業務を事例として—	共	平成 27 年 3 月	広島国際大学医療経営学論叢, 第 8 号	レセプト業務を対象として、電子カルテ導入に係る業務改善の結果から改善内容及び改善するために必要な事象を提言することを目的としたものである。会計時にレセプトチェックができる仕様特性を活かし、業務変更を実施した。会計時にレセプトチェックができない場合は、従来使用してきたレセプトチェックを日時処理することで、月初めのレセプト業務量は減少し、関連職種の業務の質向上に寄与することが可能になった。 (当該論文のページ数: 11 頁)(当該論文の著者名:服部建大、宇田淳、笹川紀夫、金谷孝之)